

川崎市 PPPプラットフォーム意見交換会 実施結果概要

事業名	「持続可能な自然教室の実施手法」の検討
事業所管課	教育委員会事務局 学校教育部 指導課
意見交換会実施日	7月29日(月)、7月30日(火)
参加事業者	全7社
対話方式	個別対話
意見交換会における主な意見等	
①小中学校170校の実施場所の選定と確保に係る委託化の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 170校を1社で行うのは難しいので、分割して発注してほしい。 ・ 学校単位で発注してほしい。 ・ コンソーシアムであればできるかもしれない。 ・ 1社でも可能だが、分割してしまうと調整等がしづらくなる。 ・ 5～6月はどこも空きがないと思う。 ・ 常連校がすでに押さえているので、新規参入は空いている所を利用するしかない。 ・ 自然教室ができる施設は2～3年先まで押さえられていることが多いので、まず調査が必要だが、調査した結果、確保できないということもあり得る。 ・ 夏場の実施は高原が良いが、体育館やグラウンドがない(合宿利用がない)所なら空いている。 ・ 冬場であれば手配できる。 ・ 小学校を全て公立の施設で受け入れるのは厳しいが、民間施設であれば受け入れの余地があるのではないか。 ・ 委託化にあたっては、単年度ではなく複数年数で継続してやっていくのがお互いのノウハウが蓄積していくのでよい。 ・ 業者決定は価格競争ではなくプロポーザルにして欲しい。
②実施までの学校と施設等とのコーディネート業務の委託の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1校ごとのコーディネートは難しい。 ・ 学校とのコーディネートは、電話だけでは難しいので打合わせを行うと相当なリソースが必要 ・ 全校同じ活動というよりは、行った施設によってプログラムを提案する。 ・ 公立施設は教育委員会が手配した場合でも、コーディネートは可能 ・ 看護師の手配は可能だが、教育委員会での手配より割高になる。 ・ 看護師の手配は学校が契約して、看護師を紹介することも可能 ・ 全校添乗するのは難しい。 ・ 添乗は1日目だけ、現地だけなどのやり方がある。

川崎市 PPPプラットフォーム意見交換会 実施結果概要

意見交換会における主な意見等	
③現在、学校業務となっている実施に係る業務の委託化の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・料金の徴収と支払いは、修学旅行等での実績があるので可能 ・金額によって積立てや一括支払いなどが可能。少額だと一括支払いになる。 ・支払い手数料は、市や保護者に負担してもらうことになる。 ・未収者への対応は、学校にも協力してもらうことになる。
④実施場所確定までのスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・実施場所の選定やバスの手配等（以下、手配等）は、遅くとも1年前、できれば2年前から実施したい。 ・手配等は、校数が多いので3年前から実施したい。 ・他都市は1年前から宿を押さえたり、自然教室等を実施した帰りに来年度の予約を取っているので、速く動きたい。 ・手配等を2～3年前からの実施としても、公立の施設は予約開始が遅いため、先に民間施設を予約していた場合に、調整（キャンセル）ができるかは施設による。 ・施設ごとに予約受付期間があり、予約が取れなかったときに別施設を押さえられるか懸念がある。 ・校数が多いので他施設活用は段階的に移行した方がよい。
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ・野外炊飯、キャンプファイヤーをできる施設は絞られてくる。 ・体制を整える上で、複数年の契約が望ましい。 ・今後の自然教室の実施には、バスがキャンセルされたときの損害金を設定すれば事業者も参加しやすくなる。

※上記内容については、参加者の承諾を得られたもののみを公表しています。

【問合せ先】

教育委員会事務局学校教育部指導課

電話：044-200-0498

メール：88sidou@city.kawasaki.jp